

しちがはま ボランティア情報誌



ドリ一夢

No.15
2012.9.1



編集発行／七ヶ浜町ボランティアセンター〈七ヶ浜町社会福祉協議会〉

〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153 TEL.022-349-7781

E-mail : sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp FAX.022-349-7782



※運営スタッフはボランティアが担当しました。

ありがとう七ヶ浜 海まつり 実行委員会



七ヶ浜町吉田浜字野山5-9 生涯学習センター内
「ボランティア」きずな館内
Tel:022-355-7130

全国、世界から七ヶ浜町の復旧・復興のために活動してくれているボランティアさんへの感謝祭「ありがとう七ヶ浜 海まつり」。

会期中の7月27日(金)～29日(日)は、町花ハマギクの植栽や町民の皆様からボランティアさん宛てのメッセージ、屋台、ステージ、花火大会、サーフィン大会等様々な催しのほか、海浜警備や周辺道路の安全管理等に対し、皆様のご理解ご協力のもと、無事に開催する事ができました。改めて、心より御礼申し上げます。



浜を元気に! 七ヶ浜町復興支援ボランティアセンターでは…

- 生活支援・引越し・サロンやイベント等への協力依頼など様々な相談を受け付けております。
- お気軽にお電話下さい→TEL.090-6853-4490

寄稿

「七ヶ浜で繋ぐバトン」

千葉県柏市在住、宮城県名取市出身／松岡 重樹
(NTTコミュニケーションズ株式会社 在職)



右から2番目が松岡さん

“思いを繋ぐ”。

現場で作業するボランティアの皆さん、作業を途中で終えることに対して、少し気が引けるような残念な気持ちを抱きます。また、自分が集めた瓦礫の山を残して、その日帰路に就くことに後ろ髪を引かれる思いがあります。かくいう私も、限られた日程で東京から七ヶ浜にきているという思いもあり、作業終了時間になつても未練がましく石を拾い歩いているボランティアの一人です。

現場でリーダーをしていたある日のこと、午後に追加で作業した現場で、大きな石類を一部山積みに残したまま作業終了時間を迎えることがありました。どうしても作業現場の規模や状況から、最初の見込んでいた予定のようにはいかず、結局、翌日も活動場所になるケースが発生してしまいます。そんな日のボランティアさんの顔、かお、力オ。皆、名残惜しそうな悔しい表情になっているものです。

私はそんな時、作業終了の会の冒頭に時間を少し頂いて言うことがあります。

「皆さん、まだまだやり足りない気持ちをお持ちではないでしょうか。実は私もそんな気持ちを持っています。今も、片付けが残った所を最後まで仕上げたい、そんな気持ちを抱いてしまいます。でも、この田んぼにスコップを入れると、まだまだ生活の一部品が沢山出てきます。それは、とてもとても一人のチカラだけでは片付けられない量です。なので、どうしても次に繋がざるを負えません。そして、私たちには次に繋げられる仲間があります。週末には300人という大人数が毎週のように全国各地からやって来てくれます。信じられる仲間が必ず同じ思いを持ってやってくる。こうした思いが繋がっているから、次に託せるのだと思います。どうか、心置きなく、“次頼んだぞ”という思いで今日はお帰り下さい」

今、七ヶ浜では、こうして思いを繋ぐバトンのリレーが日々行われています。一人の力は小さいのですが、一人ひとりの思いが繋がると、とても大きなチカラになります。こうした思いが繋がっているから、単純で地味な作業であっても毎日継続されているのでしょうか。バトンを受けてバトンを渡す。七ヶ浜で使われているそのバトンには、毎日心のこもったリボンが付けられています。

これからも、「共に前へ！七ヶ浜」。

農地の復旧・復興、 そして営農再開へ向けて

七ヶ浜地域復興組合 代表／佐藤 太郎

昨年3月の大震災により、七ヶ浜地域の農地の約90%以上が津波の被害を受けました。

一年以上が経過した現在も瓦礫や堆積物の除去作業が完了しておらず、2012年度の田、畑への作付けは不可能となっています。

震災後、農業者で立ち上げました七ヶ浜地域復興組合で瓦礫の撤去作業に取り組んできましたが、大量の瓦礫と、農地面積の広さで瓦礫を拾いきることができないでおりました。そんな中、町震災復興ボランティアセンターへ瓦礫撤去の依頼をさせていただきましたところ、



多い日は300人以上のボランティアが活動しました。



4月から全国各地より数多くの皆さんに来て

いただきまして、雨の日や、暑い日にも農地の瓦礫撤去をしていただいております。お陰様でだいぶきれいな農地へと変わってきております。そんな中、5ヘクタールほど大豆を作付けすることができました。我々農業者としては、大変ありがたく心から感謝しております。このことも、ボランティアの皆さまの温かいご支援により農地の復旧・復興、営農再開へ向けて前へ進むことができ、一日も早い、震災前の生活を取り戻すことができると思います。本当にボランティアの皆さんのお陰だと思っています。

農地に瓦礫のない、安全で安心して農作業ができる農地の復旧、営農再開に向けまして、今後もボランティアの皆さまの支援、震災復興ボランティアセンターのスタッフの皆さまのお力添え、ともに必要不可欠ですので、この先も何卒よろしくお願い申し上げます。

8月で
12回目!

横浜から七ヶ浜町へ愛あるコンサート

主宰の厚地さんご家族はいつも、ヴァイオリン、ピアノ、フルート、歌など、その時々にメンバーを考えて七ヶ浜町に来てくださいます。手作りのお菓子を持参していただき、生演奏とともに素敵な時間を皆さんとともに過ごしています。

すっかり定番になったこのカフェコンサートも、はじまりは一本の電話からでした。「外で活動を終えてきたボランティアさんに癒しの時間を」ということでおいしいコーヒーとお菓子をいただきました。その後仮設住宅集会所に寄っていただき、住民の方々にもこのひと時を提供していただけませんか?とお願いしたところ、是非にという厚地さんからのお返事でした。それから月に一度のカフェコンサートが始まりました。

いつもの空間が淹れたてのコーヒーで一味違った空間に。毎月のコンサートを楽しみにしてくださっている、生歌や生演奏を聞きたいと集まってくださる、そんなお手伝いができるスタッフとして嬉しいです。4月からは地区の公民分館でも開催しています。みなさんのお近くでも開催できる日がくるかもしれません。

今後もたくさんの思いをもって七ヶ浜町に来てくれます。みなさん心待ちにしていてくださいね。

文/竹中 昇子(ボラセンスタッフ)



↑仮設集会所



↑ボランティアセンターにて

七ヶ浜でボランティア団体が誕生しました!

1 「からだ復興支援隊・ボディケ浜」

震災直後からそれぞれ住む町のボランティアセンターで活動していた仲間達とともに、チームを結成しました。名前の由来は、マッサージ活動をするときのネーミングで、「ボディケア七ヶ浜」と「からだ復興支援隊」の2つの候補を混ぜて作りました。

多くのメンバーが柔道整復師という国家資格の取得を目指して勉強中の身でしたので、教員・講師の先生方のご協力のもと、応急仮設住宅集会所でのマッサージ活動と、多くのボランティアリーダーさんと連携して、災害復旧の活動も並行してこれまで継続して参りました。

3月の国家試験では受験メンバー全員が合格し、今は仕事との調整も難しいですが、東京や長野などから多くの国家資格をもった先生が協力して下さっています。時には、皆さんとお会いすることもあるかと思いますので、遠慮なく、お体のこと、聞いてくださいね。

「ボディケ浜」はこれからも「七ヶ浜」に密着して活動していきます!

代表/小野寺 龍一朗(汐見台)



2 七ヶ浜復興研究室「なならば」とは?

七ヶ浜復興研究室「なならば」は、先の東日本大震災からの復興を目指す中で、被災した七ヶ浜町民を中心とし、長期的にボランティア活動に従事してきた県内外の有志を加えて結成された団体です。七ヶ浜町の自然・風土・歴史への愛情を活動の原点とし、とくに基幹産業である漁業・農業・観光のすみやかな再生を願って、物産のブランディング、流通や販売、イベントの企画・宣伝など、町を元気にするさまざまな支援活動を展開しています。



メンバーとの打ち合わせ風景

7/6

山形市立第6中学校 第2学年

中学生が
大活躍!!

300名が田圃の瓦礫撤去作業に参加しました！

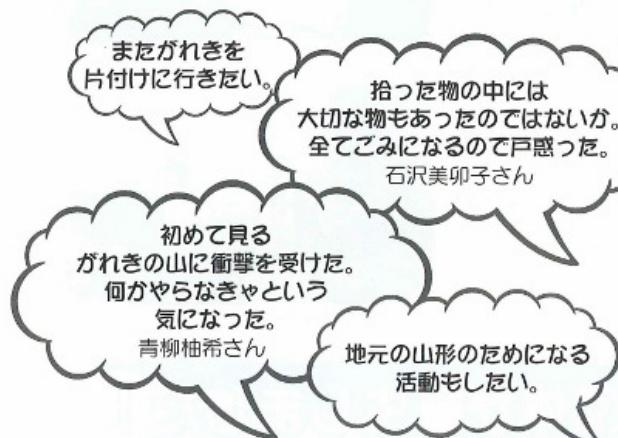
活動スローガン「輝け！笑顔・故郷」と題し実行委員会を生徒自身が立ち上げ七ヶ浜の活動について考えたそうです。

前よりきれいな田圃にしたい！

七ヶ浜の人を笑顔にしたい！

私達も笑顔とやる気が出るように…！

「私達がやる！」「私達にしかできない！」という気持ちをもって笑顔で活動してくれました！



300名が力を合わせて活動してくれました！

5/16

茨城県那珂市立第二中学校 第1学年

朝4時に出発というハードスケジュール！午前は町やボランティアセンターについて勉強！午後は地元のボランティアリーダー達とともに松ヶ浜の畠の整地と「ひまわり」の種を植えてくれました…作業を終えた子供たちの笑顔は最高に「いい顔！」をしていました。



7/1

町内の中学生も大活躍！

今年は向洋中バレーボー部がスマイルフェスタの運営スタッフとして活動してくれました！



町内の中学生は震災後のボラセンに毎日毎日活動にきてくれました！のべ200名以上！避難所の手伝いや環境整備！そして仮設トイレの掃除まで…。皆本当にありがとう！



昨年4月の様子です。

横浜マリノス 元日本代表 中澤佑二選手が再び七ヶ浜に！

昨年の5月、遊びやサッカーが出来なくなつた子供たちを励ましたいと、まだ遺失物置き場だったスタジアムで交流をしたことを覚えていますか？

再び7月29日と8月5日と連続できてくれました！5日には田圃の瓦礫撤去の作業にも参加！ボランティアと共に汗を流し、サッカーボー少年達へ熱いメッセージをくれました。

「僕も出来る限りの事はしますので、皆さんも力を合わせて頑張ってください！また七ヶ浜にきます！共に前へ!!」 中澤選手より



みんな「がんばれ」と思いをこめて…



大人も大喜びです



中澤サッカースクールのゆかいなコーチ達と！

2017年5月5日に七ヶ浜で会おう！ ～大学生協タイムカプセルプロジェクト～

こんにちは！大学生協ボランティアセンターのコウジュンです！

今年のGWに七ヶ浜への熱い想いを込めたタイムカプセルを七ヶ浜町社会福祉協議会に預けました！学習支援に来てくれたお友達や、ボランティアに参加した全国のお友達の夢や思い出のグッズを詰め込んでいます！

これを、5年後の2017年5月5日13時に七ヶ浜町社会福祉協議会に集合して、みんなで開けましょう!!!

またみんなに会えるのを楽しみにしています！！



ボランティアさんへ 「ありがとう♥ メッセージ」を 書いてくれた皆さん

本当にありがとうございました！
皆さんの感謝の想いを全国の支援してくれたボランティアさんへ届けさせていただきます
※引き続きご協力お願い致します！



県外と町民のボランティアが 一緒に「いい汗ながしました！」

7/22日

町民交流ボランティアに参加いた
だきました！ありがとうございます！皆様のおかげ
で無事に湊浜の海浜清掃が出来ました。ゴミがいっ
ぱいだった砂浜も見
違えるほど美しく
なりました！



大募集!

子ども理科実験教室

七ヶ浜教室のご案内

日時 10月6日(土) 10:30~16:30

会場 七ヶ浜町中央公民館 大会議室

対象 小学上級生 以上

主催 京都技術士会

参加
無料

★当日のスケジュール

10:30	水と友達になろう
12:00	汚れた水をきれいにする実験、水を固める実験などをして、水と環境の大切さを学ぶ。
13:00	ものの力、かたちの力
13:55	ものの形を変えて耐える荷重が変わることを実験し、これが社会でどう利用されているか学ぶ。
14:00	コイルの不思議
14:55	コイルを使った実験をし、ICカードの原理に触れる。
15:00	ゲルマニウムラジオを作ろう
16:30	鉱石ラジオを作って、ラジオの仕組みを学ぶ。

後援/七ヶ浜町社会福祉協議会・七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター

申込 七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター

締切 10月1日まで ☎ 090(6853)4490

復興応援イベント in 国際村

紫苑 sion

~全国から想いを運んで~

如い頃、家族や親戚と一緒に遊んだ七ヶ浜の浜辺。震災後、初めて舞台仲間と七ヶ浜に入ったのは昨年の8月。ボランティア活動をさせて頂く中で、七ヶ浜の皆様やボランティアセンターの皆様の温かさに心を打たれた事を強く覚えております。

昨年一緒に作業をした舞台仲間と
今日は農地復活大作戦に参加し、
翌日となる9月9日にエンターテイメント、
そして全国からのお土産を届けます。

日時 9月9日(日)

開場/13:00 開演/13:30

入場
無料

会場 七ヶ浜国際村内

アンフィシアター(野外劇場)

公演内容

★エアリアルティー(空中パフォーマンス)

★忍者ショー ~巻物争奪戦~ &ちびっこ忍者教室

★南京玉すだれ

★大お土産プロジェクト ナムキャラ応援団ジャンケン大会

主催/復興応援イベント「紫苑 sion」Algild代表 渡邉純子

大学生といっしょに 勉強しよう!!

日時: 9月2日・9日(日)
10:00~15:00

場所: 中央公民館
持ち物: 勉強道具
お昼ごはん

宿題やテスト、
受験対策など…
待ってるよ~!!



[主催] 全国大学生協連 [事務局 090-6853-4490]
[共催] 七ヶ浜町社会福祉協議会

●情報誌「ドリー夢」とは、夢をかなえる思いをこめて、ボランティアさんが名前をつけてくれました。セントラルームの愛称となっています。

大学生と七ヶ浜を 歩こう!感じよう!

震災後の浜を歩いて
七ヶ浜のことを全国から支援してくれた
大学生に教えてあげよう!
そして七ヶ浜の未来を感じよう!

日 時 9月1日(土)・8日(土)の2日間

集合場所 七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター

集合時間 10:00~15:00

持 物 水、タオル、軽装、お弁当、帽子

申 込 七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター
☎ 090-6853-4490

大切なお知らせ

ボランティアセンターへ
活動を依頼された皆様へ

活動に入らせていただきありがとうございました。
8月末よりアフターフォローの電話か訪問をさせて
いただきます。

御手間を取らせますがよろしくお願い致します。

(お問い合わせ先)
七ヶ浜町復興支援ボランティアセンター
☎ 090-6853-4490